

## 西大寺わんわんパトロール隊

会長 坂本 虎男

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

東区	小学校区・地区名	西大寺学区	世帯数	4,517世帯	人口	9,454人
----	----------	-------	-----	---------	----	--------

## ■組織の概要

西大寺学区の防犯パトロール隊「西大寺わんわんパトロール隊」は、犯罪の無い安全な町づくりをめざして「西大寺の子どもは西大寺の宝。地域の子どもは地域の住民の手で守ろう」を合言葉に120名の有志を集め、平成20年3月に発足しました。

## ■活動の取組内容

## 【子ども見守り活動】

- ① 西大寺学区の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校が隣接して集まる範囲を、朝と夕方の登下校時に、立ち班と巡回班に分かれて児童・生徒を不審者や犯罪者から守っています。
- ② 学校園から校外学習、山登り等同行パトロールの要請があった場合、帯同しています。

## 【地域安全マップ教室学習支援活動】

「自分の安全は自分で守る教育」を活動理念に子ども自身を犯罪に強い人間に育てることが重要ではないかと考え、立正大学の小宮信夫教授考案の「地域安全マップの作り方」の考え方と手法を小学生に教え込む活動をしています。

「地域安全マップ」とは、犯罪が起こりやすい場所を、風景写真を使って解説した地図のことで地域安全マップ作りから危険な場所を学び、犯罪に巻き込まれることを回避する力を身につけようとするものです。

この「地域安全マップ」の作り方は、小学校4年生を対象に学校の授業の中で行われています。

まず指導員が子どもたちに、危険な場所というのは「誰でも入りやすく」、「周りから見えにくい」場所であり、そういう場所では犯罪が起こりやすいというマップの作り方の基礎的な考え方の理論をしっかり教え、その後、パトロール隊のメンバーが子どもたちと一緒に、学校周辺や通学

路を歩き、実際に危険な場所について指導を行います。子どもたちは、そうしたフィールドワークで、自身が気づいた危険な場所、安全な場所を地図にまとめ「地域安全マップ」として発表します。



【作成した地域安全マップ】



【授業の様子】

## ■活動の効果

地域を実際に歩き、皆で地域安全マップを作成することで、不審者に対する子どもの対応が良く、事なきを得たという事例がありました。

また、朝に夕に地道な活動を続けてきた「西大寺わんわんパトロール隊」の長年の活動に対して、令和4年10月5日、岡山県知事より「功労賞」が授与されました。

## ■活動の課題

見守り隊会員の高齢化が進み、新しい会員の拡大が課題となっています。

## ■工夫していること

「できることを、できる人が、できるときにする」をスローガンに、

- ① 見守り隊会員には無理なく活動してもらうために、見守りは義務にしていません。
- ② 「西大寺わんわんパトロールニュース」を年1回発行し、防犯や見守り活動の強化について活動の内容を地域の皆さんにお知らせしています。

## 【協働する団体等】

- ・西大寺学区連合町内会
- ・西大寺ふれあいネット